

前橋市地域包括支援センター 中央東

地域に根差した福祉の拠点を目指して、わたしたちはこんなことをしています

ケアマネ支援担当



主任ケアマネジャー
石倉 京子

ネットワーク担当



社会福祉士
神保 周子

認知症ケア担当



看護師
新嶋佐知子

介護予防事業担当



看護師
酒井 智恵

自立支援事業担当



精神保健福祉士
青木 美子

前橋市地域包括支援センター中央東が設置されて一年が経過しました。地域包括支援センターの事業は、一つの包括が単独で行う事業の他に、市内全ての包括が協働で行う事業があります。たとえば、ケアマネさんや市民の方々に向けて、超高齢社会における諸問題をテーマとした講演会の企画・開催を行います。また、地域のケアマネさんを対象とした研修や勉強会を実施することで、共に専門性を高めて行く努力をしています。

地域包括支援センターでは、年に二回若宮・城東・中川地区の関係者の方々に参加して頂き、ネットワークの構築を目的とした地区会議を開催しています。昨年九月の会議では自分の住む地区についてグループごとに検討を行い、地域の実情を知る大変良い機会となりました。定期的に会議を実施し、地域の皆様との連携を深め、地域に根差した事業所となるように努めています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

地域包括支援センターの一つに、地域の高齢者が自立した生活を送れるよう支援をする介護予防ケアマネジメント事業があります。介護保険で要支援一・二の認定を受けた方の介護予防プランを作成します。また、今年度は地域に検討を行い、地域の住み慣れた家や町で、いつまでも元気に暮らす事がみんなの願いです。そのためには介護が必要な状態にならないように、元気なうから介護予防に取り組むことが大切です。地域包括センターも、そのお手伝いをさせていただいており、支援センターも、そのお手伝いをさせていただいております。自己チェック表の結果で介護予防に取り組んでいただきたい方や体力作りに興味のある方を中心にして理解を深めてもらおうと思います。これからも一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

地域に出て、おもに認知症について理解を深めてもらうために出前講座に力を入れています。これからも一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

一人暮らしや高齢者世帯の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようになります。在宅生活を続けていくためにサービス希望があれば、担当職員が訪問します。ご本人の意向、生活状況を確認してサービス利用に繋げます。利用に際し、市担当者や地域の民生委員さん、サービス事業者と連携して支援しています。地域での生活に生きがいを持ち、安心して過ごせるようにお手伝いができるればと思っています。

平成23年度 事業計画と活動状況

前橋老人ホーム



前橋老人ホームに入所されてくる御利用者の中には、不安な思いや寂しさを抱きながら入所されてくる方も少くない。また、高齢者人口の増加、老々介護ならぬ認々介護、家族とのつながりの崩壊等が深刻化してきている中セーフティネットとしての養護老人ホームが見直されている。改めて養護老人ホーム利用者の特

性を確認仕合い、そのことを踏まえ、以下の四点を事業目標として掲げました。

一、ソーシャルワーク機能

の強化により、利用者個々の心身の健康状態・生活の安定を図り、楽しく暮らせる生活の場を提供する。

二、リハビリテーションをより充実・強化し、自立に向けた施設生活が送れるよう援助する。

三、利用者・家族の想いや希望を重視したアセスメント・モニタリングを行い、個々のニーズに合った援助目標・援助計画を立てサービスを提供していく。また利用者のニーズを引き出したレクリエーション活動を行い、個別サービスの内容の充実を図る。

四、職員の専門的な知識と技術の向上

に向か、研修に参加し、専門職としてのスキルアップを図る。

私たちには、ともすれば、生活機能低下により、その人らしく生きることが妨げられてしまう部分に目がいつてしまいがちであるが、そのようなマイナス面ばかりを捉える考え方を改め、利用者の失った機能の単純な介助だけではなく、生活機能全体の向上に努め、「そ

の人の暮らしの生活」「その人が望まれるケア」を目指していきます。

また、昨年からの取り組みとして、施設の環境作りを開始しました。最初の取り組みとして、ベランダに季節の花を咲かせ、季節を感じ、心地よさを感じてい

ます。「施設」で暮らす生活ではなく「自宅」と思つていただけるような環境作り「安心感」が得られる生活の場として今後も取り組みを行ってまいります。

恵風園



今年度、特別養護老人ホーム恵風園の事業計画として、一、介護の資質向上環境整備 四、新入職員の育成と指示命令の明確化とさせていただきました。以上の四点を基本方針として、特に「介護力向上」に具体的な内容といたしまして、特に「介護力向上」に力を入れていきます。平成二十一、二十二年度と介護力向上講習会に参加し、ご利用者様の自立支援に取り組みました。その中で車椅子使用の方が歩行器を使用しての移動が可能になつたり、オムツを使用していた方がトイレでの排泄が可能になつたりと、ご利用者様

の生活の質の向上が見られております。今年度も講習会に参加し、さらに施設内での講習を行い職員の資質向上を目指します。

また、施設内の活動の他にさまざまな外出行事にも取り組んでおります。前橋祭りや七夕祭りなど、季節の行事の見物を行つております。さらに、平成二十二年度は群馬サファリパーク見学など、新たな外出も計画し、実際参加された方が「楽しめたよ」「またつれてきてね」などうれしい言葉をい



ただいております。ご利用者様が楽しく過ごしていた様な立案し、またご利用者様からもご意見をいただきながら、より充実した生活を送つていただるために努力してまいります。

ていく所存でございます。ご利用者様の方々が安心して暮らせる、またご家族様が安心して任せられる生活の場を提供できるよう、職員一丸となつて取り組んでまいります。

一、介護の質的向上として、常に笑顔でご利用者様のニーズを聞き出せるように、一日一人十分は、耳を傾けて聴く事を実践する事で、カンファレンス接な連携を取る事と、研修会の参加や勉強会の開催には、積極的に参加をして、職員の知識向上を図つてまいります。

二、個別ケアの実践と研修参加として、ICF（国際生活機能分類）を職員の共通言語とし、より密接な連携を取る事と、研修会の参加や勉強会の開催には、積極的に参加をして、職員の知識向上を図つてまいります。



前橋市恵風園 デイサービスセンター

平成八年、前橋市恵風園デイサービスセンターが開所し、今年で十五年を迎える事が出来ました。これも偏に、ご利用者様、ご家族様、そして地域の皆様方の平素より、デイサービスセンターに対するご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な生活に戻られますようお祈り申し上げます。

さて、恵風園デイサービスセンターは、今年度の事業目標として、三項目を挙げました。

平成23年度 恵風園デイサービスセンター年間スケジュール

項目 月	運営	レク	研修	毎月
4	苦情解決第三者委員会開催	花見(桜)見物 鯉のぼり作成	ICF研修	レクレーション ・誕生会 ・太極拳教室 ・絵画教室 ・おやつ作り
5	利用者・家族満足度調査	鯉のぼり上げ 利用者体力測定	プライバシー保護研修 倫理および法令の順守に関する研修	会議等 ・定期会議 ・ケース会議 ・看護会議 ・サービス検討会議
6	感染症・事故対策委員会	ジャガイモ掘り 七夕作り	事故防止検討研修 認知症ケア研修	随時 ・外部研修参加 ・担当者会議 ・個別勉強会 ・体重測定
7	通所介護計画書更新	七夕見物	事例検討(ヒヤリハット)	
8	職員定期健康診断 防災総合訓練	納涼祭	災害時対応研修	
9	個人面接(半期確認)	敬老祝い会	プライバシー保護に関する研修	
10	感染症・事故対策委員会	デイ運動会 利用者体力測定	身体拘束廃止研修	
11	来期計画検討開始	紅葉ドライブ	事例検討(ヒヤリハット)	
12	施設内感染症委員会 感染症・事故対策委員会	クリスマス会 来年の干支作り・餅つき大会	インフルエンザ対応研修	
1		初詣ドライブ 七草粥	感染症・食中毒防止 食事の嗜好に関する調査 検討会議	隔月 ・給食会議
2	通所介護計画書更新 防災総合訓練	節分・まめまき	年間レクレーション計画 検討会議	
3	個人面接(評価) 感染症・事故対策委員会	ひな祭り 梅林(箕郷)見物	マニュアル検討会議	

要介護・要支援状態にある高齢者に対し、生活上の困難や要望を十分に聴き取り、公正中立な立場で介護保健サービスや多様な社会資源を適切に調整し住み慣れた地域でその人らしい自

居宅介護支援事業所 恵風園

【事業目標】

【重点目標】

立した日常生活が送れるよう支援する。

一、事例の共有とチームアプローチ
対応困難な事例については、ダブルケアマネ制を導入し、必要に応じて二人で訪問する。週一回の事例検討会を持ち、全員の利用者に対して共通の認識を持ちながら対応できるようす

した、利用者満足度調査を実施させて頂き、ご利用者様が、心地よいと思われ、その日を楽しく過ごしていただける、環境や雰囲気作りを提供して行くよう職務を行つてまいります。

また、昨年より開始しました、利用者満足度調査を実施させて頂き、ご利用者様が、心地よいと思われ、その日を楽しく過ごしていただける、環境や雰囲気作りを提供して行くよう職務を行つてまいります。

る。また朝のミーティングで行動確認、連絡を行う。

二、資質向上

研修棟に積極的に参加し仕事のスキルを高める。年二回、自己評価を行い、できない所に気付く。利用者、家族へ満足度調査を行い今



後のサービスに反映させる。

三、この仕事をして良かつた事、思う事

ケアマネ各人の気持ちです。

多くの人に会えること。笑顔になれるうこと。元気が出ること。

【井上】



たくさんのお会いとたくさんの方の想い。私の方が

りがとうです。【小川】

利用者の方、ご家族、そ

して、その周りの方々と

の温かいご縁。【島崎】

人それぞれの人生があ

る。出来なくなるまで頑

張る気持ちが大事。

【森下】

定期的な会議で情報の共有を行い、チームで統一したサービスの提供を行う。

また研修に参加し専門職と

してのスキル高めしていく。

三、この仕事をして良かつた事、思う事

ヘルパーステーション各

人の気持ちです。

利用者様に笑顔でむかえられた時、人と人との関わりが大切なことと実感。

【松井八】

こんな私でも必要と思つてくださる事がうれしい

し楽しいです。【秋山】

訪問を楽しみに待つて居下さる、利用者さんの

強い優しさにふれたとき。

【鈴木】

利用者さんの笑顔が見られた時、嘘偽りなく接す

れば心が通じ合う。

【高橋】

「ありがとう」の一言が自分への褒美。人生の先輩方から「目からウロコ」です。【下田】

気づきや工夫を現場で活かせたときは、とても嬉

しいです。

【伊東】

・人生の先輩に会えること。普通の生活の大切さ。

【松井敏】

・「待ってたよ」と声を掛けていただき、毎日が充実していて楽しい。

【岩崎】

栄養・調理

一、栄養ケア・マネジメントの実施

低栄養状態の予防・改善を通じ、生活機能の維持・改善や尊厳ある自己実現を目的に行います。

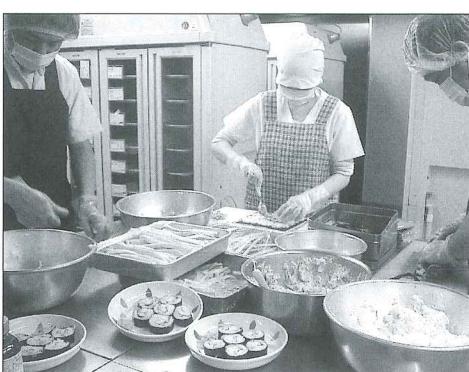
二、高齢者ソフト食・ゼリーフル活用し、ご利用者に喜んで頂ける食事提供を行います。

料理としての見た目、食事としてのおいしさ、誤嚥

しにくい食形態を追求していきます。

三、選択食の実施

ご利用者の自主性を尊重し、選ぶ樂しみも取り入れた献立作成を行います。



昼食のサラダ巻きを作成中。

365日、喜んで頂ける食事提供が出来るよう、手作りをモットーに明るく・活気ある厨房で食事作りに励んでいます。

恵風園ホームヘルパー ステーション

【事業目標】

- 一、訪問介護計画書・実施報告書の作成と報告の徹底

利用者様が住み慣れた地域の中で安心した在宅生活が送れる様、利用者の心身の状況等に応じて、自立支援に基づいた介護サービスを行います。

- 二、職員資質の向上とチームアプローチ

の提供を行います。

【事業目標】

- 一、訪問介護計画書・実施報告書の作成と報告の徹底

プランに即した訪問介護計画を立てヘルパーが交代しても同じサービスを提供する。提供中に気付いた事など定期的にモニタリングを行う。

【事業目標】

利用者様が住み慣れた地域の中で安心した在宅生活が送れる様、利用者の心身の状況等に応じて、自立支援に基づいた介護サービスを行います。

- 二、職員資質の向上とチームアプローチ

の提供を行います。

【

東日本大震災

被災地派遣報告

①滞在期間 ②派遣先(滞在場所) ③収容人数

東日本大震災にて被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。これから復興に継続的な協力をして行きたいと思います。

震災発生から約二週間後、県より各施設に要請がありました。第一班から第八班まで編成され順次現地に入り災害ボランティア介護員として使命を果たして来ました。恵風会からは、六名のメンバーが行つて参りましたので実体験を掲載させていただきます。お疲れさまでした。



渡辺 学

①平成23年4月22~27日
②気仙沼高校
③約300名

復興に向けた各方面からの取り組みが始まっているが、これから本当に必要なのは、家族を亡くした方や両親を亡くし一人ぼっちになってしまった子供達や、高齢で自宅の片づけも出来ないで困っている方、自宅シーソーのないような生活をしている方の精神的なケアが必要だと感じた。悲しくても泣く事を忘れたように振舞う子供や大人の心のケアが支援としてのポイントになるのではないか。行政も



酒井 智恵

①平成23年4月6~11日
②気仙沼市面瀬中学校避難所
③350名

一生懸命だが、仮設住宅の建設も進まず行き場所がない、不満をぶつける対象のないストレスが蔓延している。一方、宮沢賢治の「アメニモマケズ…」を引用した南相馬の桜井市長が「世界で最も影響力のある100人」のタイム誌に紹介されたが、自然災害と向き合ふ、そこで暮らす人間の宿命と捉えなくてはならない側面もあるのではないかと思う。



飯塚 卓

①平成23年4月10~15日
②気仙沼市総合体育館
③700名

先日、私が行った避難所では、食事は一日二食、入浴はできない、トイレの水が流せない、普段私達が生きていたり前のこと

な時に来ないでもつとい時にくればいい。ここは本当にいい場所。今度来るとときは美味しいもの食わせてやるから。必ずまたここに来てな。この言葉どおり、地元の方は必ずこの町と海が復興すると信じて頑張っています。涙をこらえながら必死に生きている皆さん姿にこの町の一日も早い復興を願わずにはいられません。この震災への支援は長期間必要だと思われます。介護職、医療職などのカデゴリーにとらわれず多くのマンパワーが復興に役立つと思います。これで終わりではなく社会福祉法人として、施設として、そして同じ大陸の住人として支え合うことができるのではないかと思います。



中嶋 拓哉

①平成23年4月14~19日
②特別養護老人ホーム春園苑
③115名

私は氣仙沼体育館に行かせていただきました。被災者の方々は、想像できないほどの悲しみや辛い言葉があります。「こん

施設では、電気もご飯もあるけれど、未だ断水状態が続いている中、それでも施設の職員も利用者様もその家族の方々も明るくて元気に頑張っていました。様々な人達と接し、人の本当の優しさと強さを感じることができた気がします。

この経験と出来事を風化させないように頑張つていけたら思っています。



北野 学

①平成23年4月26~30日
②特別養護老人ホーム春園苑
③80~90名

被災地にボランティアに行かせて頂いた事を感謝させて頂きます。被災地に行き多くの事を学ぶ事が出来ました。自分は施設の外で活動していたので現地の人たちとも話をし様々な事を聞きました。施設では利用者さんと話す事によつてどのようなケアをするべきかを学びました。その経験を仕事に役立てるよう努めています。

な時に来ないでもつとい時にくればいい。ここは本当にいい場所。今度来るとときは美味しいもの食わせてやるから。必ずまたここに来てな。この言葉どおり、地元の方は必ずこの町と海が復興すると信じて頑張っています。涙をこらえながら必死に生きている皆さん姿にこの町の一日も早い復興を願わずにはいられません。この震災への支援は長期間必要だと思われます。介護職、医療職などのカデゴリーにとらわれず多くのマンパワーが復興に役立つと思います。これで終わりではなく社会福祉法人として、施設として、そして同じ大陸の住人として支え合うことができるのではないかと思います。

施設では、電気もご飯もあるけれど、未だ断水状態が続いている中、それでも施設の職員も利用者様もその家族の方々も明るくて元気に頑張つていました。様々な人達と接し、人の本当の優しさ、強さに触れることが出来ました。今回の経験をこれから仕事、私生活に生かしていきたいです。

体験をしたのに、自分たちを気遣つてくれたり、厳しい環境でも協力して悲しみや苦しみを見せず生活していく、私は、人の本当の優しさ、強さに触れることが出来ました。今回の経験をこれから仕事、私生活に生かしていきたいです。

長い時間がかかると思って体験しました。私が卒業した小学校は原発の問題で、子供達が校庭で遊んではいけない状況が続いています。

役員名簿

任期：平成25年5月31日()

(理事長)

田辺 誠
(理事・評議員)

大磯 誠

元衆議院議員

旅がらす本舗清月堂会長

大島 敬三 前橋老人ホーム施設長

桑原 功 衆議院議員

元前橋市議会議員

鈴木 康之 恵風園施設長

田辺 守二 日吉町二丁目自治会長

千葉 義一 弁護士・元参議院議員

角田 天野 群馬日産社長

小西 敬次郎 元上毛新聞社専務編集局長

北川 英雄 民生児童委員(城東地区会長)

田辺 潔 田辺歯科医院長

三森 和也 市議会議員

山田 浩史 清里荘施設長

横地 圭一 横地眼科医院長
鈴木ひろ子 元クスリのマル工相談役顧問
田辺 田辺 敬次郎 民生児童委員(城東地区会長)
三森 田辺歯科医院長
山田 市議会議員
横地 清里荘施設長
柳田 横地眼科医院長
福島 前橋医療福祉専門学校長
柳田 庄司 元未来学園
柳田 廣隆 前橋医療福祉専門学校長
柳田計理事務所長
(五十音順)

平成22年度 決算報告

財産目録

平成23年3月31日現在

(単位：円)

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	175,986,278	
現金	46,977	
普通預金		
群馬銀行 前橋支店	227,939,301	
定期預金		
群馬銀行 前橋支店	100,000	
※内 基本財産特定預金	-100,000	
※現金預金のうち下記積立預金として計上		
施設整備等積立預金	-52,000,000	
未収金		
介護報酬 他	89,518,185	
立替金	1,023,023	
前払金		
火災保険料	1,806,000	
流動資産合計	268,333,486	
2 固定資産		
①基本財産		
建物	611,990,490	
建物付属設備	52,793,632	
土地	63,332,080	
基本財産特定預金	100,000	
基本財産合計	728,216,202	
②その他の固定資産	91,699,415	
固定資産合計	819,915,617	
資産合計(A)	1,088,249,103	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
各業者支払	46,346,008	
預り金		
社会保険料 他	3,382,162	
流動負債合計	49,728,170	
2 固定負債		
設備資金借入金	110,400,000	
退職給与引当金	6,298,466	
固定負債合計	116,698,466	
負債合計(B)	166,426,636	
差引純資産(A - B)	921,822,467	

貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	
流動資産	268,333,486
現金預金	175,986,278
未収金	89,518,185
立替金	1,023,023
前払金	1,806,000
固定資産	819,915,617
基本財産	728,216,202
建物	611,990,490
建物附属設備	52,793,632
土地	63,332,080
基本財産特定預金	100,000
その他の固定資産	91,699,415
建物	9,223,707
建物附属設備	8,604,825
構築物	869,396
車輌運搬具	4,004,679
器具及び備品	10,114,180
権利	20,000
ソフトウェア	421,022
退職共済預け金	4,083,866
退職共済預け金(措置)	2,214,600
施設整備等積立預金	52,000,000
その他の固定資産	143,140
資産の部合計	1,088,249,103
負債の部	
流動負債	49,728,170
未払金	46,346,008
預り金	3,382,162
固定負債	116,698,466
設備資金借入金	110,400,000
退職給与引当金	6,298,466
負債の部合計	166,426,636
純資産の部	
基本金	127,652,880
基本金	127,652,880
国庫補助金等特別積立金	243,036,268
その他の積立金	52,000,000
施設整備等積立金	52,000,000
次期繰越活動収支差額	499,133,319
次期繰越活動収支差額(うち当期活動収支差額)	499,133,319
純資産の部合計	921,822,467
負債及び純資産の部合計	1,088,249,103

資金収支計算書

自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算
収入	介護保険収入	410,745,778
利用料収入	296,429	
措置費収入	149,144,115	
補助事業等収入	8,641,009	
事業収入	23,385,510	
経常経費補助金収入	900,000	
寄附金収入	340,000	
雑収入	1,927,057	
借入金利息補助金収入	1,510,000	
受取利息配当金収入	686	
経理区分間繰入金収入	19,154,063	
経常収入計(1)	616,044,647	
支出	人件費支出	399,878,145
事務費支出	55,864,954	
事業費支出	90,743,757	
借入金利息支出	2,284,300	
経理区分間繰入金支出	19,154,063	
経常支出計(2)	567,925,219	
経常活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	48,119,428	
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	0
支出	固定資産取得支出	12,046,930
出	施設整備等支出計(5)	12,046,930
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	-12,046,930	
収入	その他の収入	132,530
財務活動による収支	財務収入計(7)	132,530
支出	借入金元金償還金支出	8,330,000
出	積立預金積立支出	25,000,000
その他の支出	554,416	
流动資産評価減等による資金減少額	240,054	
財務支出計(8)	34,124,470	
財務活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-33,991,940	
予備費(10)		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	2,080,558	
前期末支払資金残高(12)	216,524,758	
当期末支払資金残高(11) + (12)	218,605,316	

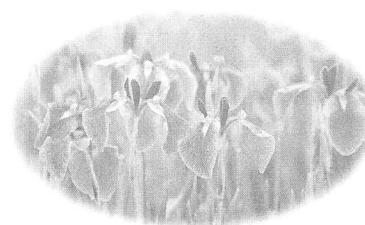
平成22年度決算報告

事業活動収支計算書

自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算	勘定科目		決算
事業活動収支の部 収入	介護保険収入	410,745,778	施設整備等寄附金収入	0	0
	利用料収入	296,429	その他の特別収入	19,023,754	19,023,754
	措置費収入	149,144,115	特別収入計(8)	19,023,754	19,023,754
	補助事業等収入	8,641,009	固定資産売却損・処分損	34,700	34,700
	事業収入	23,385,510	その他の特別損失	19,023,754	19,023,754
	経常経費補助金収入	900,000	特別支出計(9)	19,058,454	19,058,454
	寄附金収入	340,000	特別収支差額(10) = (8) - (9)	-34,700	-34,700
	雑収入	1,927,057	当期活動収支差額(11) = (7) + (10)	24,491,497	24,491,497
	引当金戻入	207,592	前期繰越活動収支差額(12)	499,641,822	499,641,822
	国庫補助金等特別積立金取崩額	16,815,657	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	524,133,319	524,133,319
事業活動収入計(1)		612,403,147	基本金取崩額(14)	0	0
事業活動収支の部 支出	人件費支出	399,878,145	基本金組入額(15)	0	0
	事務費支出	55,709,760	その他の積立金取崩額(16)	0	0
	事業費支出	90,743,757	その他の積立金積立額(17)	25,000,000	25,000,000
	減価償却費	39,746,948	次期繰越活動収支差額		
	徴収不能額	240,054	(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)	499,133,319	499,133,319
	引当金繰入	784,672			
	事業活動支出計(2)	587,103,336			
	事業活動収支差額(3) = (1) - (2)	25,299,811			
事業活動外収支の部 収入	借入金利息補助金収入	1,510,000			
	受取利息配当金収入	686			
	経理区分間繰入金収入	19,154,063			
	事業活動外収入計(4)	20,664,749			
	借入金利息支出	2,284,300			
	経理区分間繰入金支出	19,154,063			
	事業活動外支出計(5)	21,438,363			
	事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)	-773,614			
経常収支差額(7) = (3) + (6)		24,526,197			



恵風会苦情解決第三者委員会

日 時：平成22年9月29日（水）午後4時から

会 場：恵風会会議室

出席者：第三者委員 山田浩史委員 萩野恒男委員
恵 風 会 田辺理事長 大島施設長 田辺施設長
井上施設長

平成21年度社会福祉法人恵風会 苦情報告書

1 苦情の数及び内容		(単位：件)		
前	1) 職員の接遇	0	0	0
老	2) サービスの質や量	0	0	0
	3) 利用料	0	0	0
	4) 説明・情報提供	0	0	0
	5) 被害・損害	0	0	0
	6) 権利侵害	0	0	0
	7) その他	0	0	0
	計	0	0	0
惠	1) 職員の接遇	0	0	0
風	2) サービスの質や量	0	1	1
園	3) 利用料	0	0	0
	4) 説明・情報提供	0	0	0
	5) 被害・損害	0	0	0
	6) 権利侵害	0	0	0
	7) その他	0	0	0
	計	0	1	1
デ	1) 職員の接遇	0	0	0
イ	2) サービスの質や量	0	0	0
	3) 利用料	0	0	0
	4) 説明・情報提供	0	0	0
	5) 被害・損害	0	0	0
	6) 権利侵害	0	0	0
	7) その他	0	0	0
	計	0	0	0
居	1) 職員の接遇	0	0	0
宅	2) サービスの質や量	0	0	0
	3) 利用料	0	0	0
	4) 説明・情報提供	0	0	0
	5) 被害・損害	0	0	0
	6) 権利侵害	0	0	0
	7) その他	0	0	0
	計	0	0	0
ヘ	1) 職員の接遇	0	0	0
ル	2) サービスの質や量	0	0	0
	3) 利用料	0	0	0
	4) 説明・情報提供	0	0	0
	5) 被害・損害	0	0	0
	6) 権利侵害	0	0	0
	7) その他	0	0	0
	計	0	0	0
フ	1) 職員の接遇	0	0	0
	2) サービスの質や量	0	0	0
	3) 利用料	0	0	0
	4) 説明・情報提供	0	0	0
	5) 被害・損害	0	0	0
	6) 権利侵害	0	0	0
	7) その他	0	0	0
	計	0	0	0
	合 計	0	1	1

2 未解決		法人全体(単位：件)
1) 円満に解決(説明・協議により申立者が納得、現状は変わらず)	0	
2) 円満に解決(施設側が何らかの改善をして、申立者が納得)	1	
3) 県社協(運営適正化委員会)の斡旋により和解	0	
4) 訴訟に発展	0	
5) 未解決につき調整中	0	
6) その他	0	
	合 計	1

この度、編集委員に左記メンバーアーが選任されましたので報告致します。
（編集委員長）
（編集委員）総務課
地域包括中央東
介護支援
居宅介護支援
デイサービス
前橋老人ホーム
恵風園
小川矢嶋岡田幸文
大津石倉金子牧子京子友江
栄養調理
尚、皆様のご協力を頂き今回第9号を発行することができました。これからも内容を充実させ継続して参りますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

去る平成二十三年三月二十七日当法人の嘱託医並びに理事として、長年ご尽力いただきました土屋純先生がご逝去されました。役職員一同、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

電話	371-0017	発行人	田辺 辺	発行日	平成23年6月1日
前橋市日吉町2丁目20番地14	社会福祉法人恵風会	誠	平成23年6月1日	平成23年6月1日	平成23年6月1日